

新型クロスオーバーSUV「MAZDA CX-90」を初公開

－ 走る歓び、環境安全性能、快適性を大きく進化させたワイドボディ3列シートSUV －

マツダ株式会社(以下、マツダ)の北米事業を統括する「マツダノースアメリカンオペレーションズ(Mazda North American Operations)」は、新型ミッドサイズクロスオーバーSUV「MAZDA CX-90(マツダ シーエック ス ナインティ)」を、現地時間の1月31日に初公開しました。

マツダは、グローバルに需要が高いSUV市場において、ラージ商品4車種*1を2023年までに導入予定です。CX-90は、昨年導入したCX-60に続く、「走る歓び」と「環境安全性能」を大幅に進化させたラージ商品群の第2弾となります。ラージ商品群の導入により、各市場の特性や顧客ニーズに応えるSUVラインアップを拡充することで、マツダはビジネスおよびブランドのさらなる成長を図ります。

CX-90は、重要市場である北米のお客様のニーズを踏まえて新たに開発された商品です。「For the Voyage of your life(人生の航海のために)」のコンセプトのもと、運転する楽しさや、家族や友人など多人数でのドライブをさらに楽しくする快適性や機能性、安全性能を高めたワイドボディ3列シートSUVであり、マツダの新たなフラッグシップモデルとして今春、米国より導入します。



MAZDA CX-90(北米仕様)

CX-90のデザインでは、マツダのデザインテーマ「魂動(こどう)－SOUL of MOTION」にもとづく生命感の表現とともに、「引き算の美学」によるシンプルな造形、ダイナミックかつ堂々としたプロポーションを実現しています。インテリアでは、整然とした上質な空間の中に天然素材や光の動きを織り込みながら、空間全体で日本の美意識を表現しました。

パワートレインには、48Vマイルドハイブリッドを組み合わせた新開発3.3L直列6気筒ガソリンエンジン(ターボチャージャー付)と、2.5L直列4気筒ガソリンエンジン搭載のプラグインハイブリッドシステム「e-SKYACTIV PHEV」を採用。後輪駆動ベースの新世代アーキテクチャーとの組み合わせにより、意のままの走りと優れた環境性能を提供します。

また、乗員全員にとっての快適な室内環境に注力。全席において室内空間を拡げるとともに、3列目には3人掛け用シート*²や専用の空調吹出し口を設定しています。加えて、トーイング性能の強化設定などドライブを通じたさまざまな体験を可能とする機能も充実させています。

さらに、運転に必要な情報を直感的に認識できるシースルービュー*²や大型アクティブドライビングディスプレイ*²の採用により、安心・安全をサポートします。

マツダは2030年に向け、「ひと中心」の思想のもと人を研究し続け、人々の日常や移動することの感動体験を創造し、誰もが生き活きと暮らす「愉しさ」と「生きる歓び」を届けていくことを目指してまいります。

以上

*1:「MAZDA CX-60」と「MAZDA CX-80」の主要導入市場は欧州、日本、その他地域。「MAZDA CX-70」と「MAZDA CX-90」の主要導入市場は北米、その他地域になります。

*2: グレードにより設定が異なります。